

令和3年度 スタディー・アブロード（海外教育交流協定校・大学）の実施について

海外留学の現状

令和2年度においては、新型コロナウイルスへの感染が世界中で発生したため、外務省の海外安全情報（感染症危険レベル）もほとんどの国でレベル3（渡航は止めてください）となり、日本から国外に出国することもできない状況となりました。そのため、本学のスタディー・アブロード（海外留学）も多大な影響を受けました。

令和3年度の秋学期からは、米国など一部の国で一定の条件を満たしていれば、留学が可能となりました。他大学の動向を確認しつつ、本学でも海外教育交流協定校に打診し、安全対策など各種対策を施しつつ、学生の派遣の準備を進めました。その結果、1年半ぶりに、スタディー・アブロード（海外留学）が再開できることになりました。

1月以降、入国条件を緩和する国が増えてきたため、海外教育交流協定校と連絡・調整を取りつつ、令和4年度スタディー・アブロード（海外留学）の本格的実施に向けた準備を進めています。

令和3年度の留学実績（海外教育交流協定校・大学）

令和3年に入っても、新型コロナウイルス感染拡大は完全には収まることはありませんでしたが、国によっては外国からの入国条件を緩和し、留学生の受け入れを再開したため、十分な安全対策を講じながら、アメリカ、韓国に計4名の学生を派遣しました。その他8名の学生たちが、教育協定校ポートランド州立大学が提供するオンラインプログラムに参加し、現地大学生との交流を行いました。

令和4年夏、秋出発では、アメリカ、カナダ、オーストラリア、フランス、ベトナム、タイ、韓国に計22名の学生たちを派遣する予定です。

学生番号	留学先国名	留学先教育機関名	留学期間	備考
C119023	アメリカ	ライト州立大学	2022年1月3日～2022年5月4日	
C120048	アメリカ	ライト州立大学	2022年1月3日～2022年5月4日	
C120053	アメリカ	ライト州立大学	2022年1月3日～2022年5月4日	
C119032	韓国	釜山外国語大学校	2022年2月16日～2022年6月25日	
C120033	アメリカ	ポートランド州立大学	2022年2月28日～2022年3月11日	オンライン留学
C120040	アメリカ	ポートランド州立大学	2022年2月28日～2022年3月11日	オンライン留学
C120048	アメリカ	ポートランド州立大学	2021年8月23日～2022年9月3日	オンライン留学
C120022	アメリカ	ポートランド州立大学	2022年2月28日～2022年3月11日	オンライン留学
C120036	アメリカ	ポートランド州立大学	2022年2月28日～2022年3月11日	オンライン留学
C120042	アメリカ	ポートランド州立大学	2022年2月28日～2022年3月11日	オンライン留学
C120052	アメリカ	ポートランド州立大学	2022年2月28日～2022年3月11日	オンライン留学
C120059	アメリカ	ポートランド州立大学	2022年2月28日～2022年3月11日	オンライン留学

「スタディー・アブロード事前指導」シラバス

担当者（Universal Passport シラバス参照）

畝 伊智朗、金沢 真弓、池上 真由美

1 年次 履修期 秋学期 単位数 2.0

テーマと到達目標

2 年次より開講の「スタディー・アブロードⅠ～Ⅳ」に向けての事前準備を行う。

実際に海外留学、インターンシップ、ボランティア、に参加するため必要となる基礎知識、情報、技能を習得する。そして、十分に留学先・国状、大学や受け入れ先機関を理解し、積極的に留学計画をたて、有意義な留学体験ができるようになる。

概要

留学体験のある本学卒業生や在学生の体験談を聞き、アドバイスをしてもらう。それによって、留学の意義、魅力を理解し、また、リスク管理を可能にし、安心して出かけられるようになる。また、必要書類、実務的な手続き、海外でのマナー等について理解を深め、留学に備える。

また、異文化理解のための講義、語学研修、リスク管理のシミュレーション、ワークショップによる課題発見、自己理解、留学準備計画書の作成等に取り組む。各自の関心のある国に関して、自ら情報収集し、クラスで発表する。事前準備を徹底し、楽しんで留学に出かけられる体制を整える。

履修期間の後半で留学先を決定し、スタディー・アブロードⅠⅡにつなげるべく個人対応を行う。

評価方法

積極的な授業参加態度(20%)、
授業記録(20%)、
受講生のプレゼンテーション(30%)、
留学準備計画書(30%) 以上により評価を行う

履修条件・注意事項

語学や、異文化理解、現地での計画を立てられるように、自分でも積極的に情報収集する。
そして自分の調べたこと、留学、インターンシップ、ボランティア計画について発表する。
毎回ポートフォリオ用紙に記入し提出し、留学前ポートフォリオを完成させていく。
授業中しっかり聞き理解を深め、書きとめ、留学前ポートフォリオ完成を目指す。
留学準備計画の発表資料、留学準備計画書の作成は、自分で調べて作成すること。最終化する前に、必ず、チューターと相談すること。

授業計画

基本的に全担当教員が指導

【 】内は、メイン担当者

- | | | |
|-------------------------|--------------|----------|
| 1. オリエンテーション、受け入れ先、事前準備 | 【池上・高田・畝・金沢】 | 10/6 |
| 2. 留学ワークショップ、ブレインストーミング | 【金沢・池上】 | 10/13 |
| 3. 留学経験者体験談と質疑応答 | 【畝】 | 10/20 |
| 4. 職業調べ | 【池上】 | 10/27 |
| 5. 語学力アップの方略 | 【金沢】 | 11/3 |
| 6. 留学フェア | 【金沢・池上・畝】 | 11/10 2限 |
| 7. My Profile 作り① | 【池上・金沢】 | 11/17 |
| 8. My Profile 作り② | 【金沢・畝】 | 11/24 |
| 9. 留学先の決定（第1次） | 【池上・高田】 | 12/1 |
| 10. 留学準備計画の立案・発表準備① | 【金沢・池上】 | 12/8 |
| 11. 留学準備計画の立案・発表準備② | 【高田・金沢・池上】 | 12/15 |
| クレジットカード等について | | |
| 12. 留学準備計画発表① | 【池上】 | 12/22 |
| 13. 留学準備計画発表② | 【畝】 | 1/12 |
| 14. 留学準備計画発表③ | 【金沢】 | 1/19 |
| 15. 留学準備計画発表④ | 【池上】 | 1/26 |
| 16. リスクマネジメント・2年次に向けて | 【畝・金沢・池上】 | 2/9 |
| パスポート・カード等チェック | | |
| 17～21（5回分）・・・2年生 4～6月 | | |

スタディー・アブロード タイムスケジュール			
月	事前学習	TOEIC	準備
10	オリエンテーション(10/1)	(学外)公式TOEIC11月受験申込〆切り (10/18) 15:00 (学外)公式TOEIC12月受験申込〆切り (11/8) 15:00	パスポート入手
11	留学先の決定 (第1次)	(学外)公式TOEIC受験 (11/28)	クレジットカード・デビットカード等作成
12	留学準備計画の立案・発表準備 留学準備計画の発表 (1～5回) パワーポイント使用	(学外)公式TOEIC受験 (12/19)	
1		(学外)公式TOEIC受験 (1/30)	
2		★(学内)TOEIC IP受験(2/11) (留学先決定参考スコア)	
3	保護者懇談3/6 (留学希望票配付) ⇒ 3月中旬に提出 (メール可)	(学外)公式TOEIC受験 (3/20)	
4	オリエンテーション・留学先決定状況 発表	(学外)公式TOEIC受験 (4/)	
5	留学先最終決定・留学計画作成、渡航 準備	(学外)公式TOEIC受験 (5/)	
6	出発準備確認 (補習・補講)	(学外)公式TOEIC受験 (6/)	
7		(学外)公式TOEIC受験 (7/)	
8		★(学内)TOEIC IP受験	

吉備国際大学 外国語学部 外国学科 スタディー・アブロード(留学)の流れ

1 年次 4 月：外国学科 入学

1 年次春学期：先輩の留学報告会を聴講したり、本学の留学先（海外教育交流協定校）を調べたりして、自分の留学希望先を絞り込むと共に、自身の英語力を見直して英語力向上の為の英語学習に努める。

1 年次 8 月：TOEIC IP 試験を受験。現在の自分の英語力を確認する。

1 年次秋学期：留学に向けた準備科目「スタディー・アブロード事前指導」開始
実際に海外留学、インターンシップ、ボランティア、に参加するため必要となる基礎知識、情報、技能を習得する。
そして、十分に留学先・国状、大学や受け入れ先機関を理解し、積極的に留学計画をたて、有意義な留学体験ができるようにする。

1 年次 2 月：TOEIC IP 試験を受験。留学先選考に向けた英語力の指標とする。

1 年次 3 月：学生・保護者・担当教員による留学先決定に向けた三者面談を実施。
三者面談を基に留学先希望票を提出。

2 年次 4 月：留学先希望票を基に、第 1 回目の留学先選考を実施。

2 年次 5 月：第 2 回目の留学先選考を実施。（ほとんどの学生が留学先を決定）
決定した留学先に向けて渡航準備(手続き)開始。留学計画を作成。

2 年次 6 月：手続き状況や準備内容を確認。必要に応じて補講や補習を実施し、学生の
～7 月：留学意欲を高めると共に留学先での学修に備える。

2 年次 8 月～：スタディー・アブロード(留学)開始

3 年次 6 月：留学先の教育交流協定校によって受入時期が違うので、本学での学修を続けながら留学の準備を進めて留学開始を待つ。

留学中は、教育交流協定校のプログラム(授業やアクティビティ)を受けながら自学自修を進め、毎週ポートフォリオ(実習記録)を担当教員に提出して指導を受け、所定の時間数の学修を行うことで、海外実習としての単位を取得する。

留学期間終了：帰国後、担当教員より事後指導を受けながら、留学報告会への参加、留学報告書の提出を行う。

スタディー・アブロード 留学報告書

学年 3 年 学生 ID

名前：

スタディー・アブロード	I ・ II ・ III ・ IV
国（都市）	アメリカ（オハイオ州 デイトン市）
大学・機関名	ライト州立大学
経 費	交換留学 ・ 自費留学 ： 奨学金受給（あり ・ なし）
経費概算	旅費（30 万円）保険・ビザ（10 万円）教材費（5 万円）寮費他（40 万円） その他生活費（25 万円）
留学期間	2022 年 1 月 1 日 ～ 2022 年 5 月 1 日

1. テーマ

ひとつずつコツコツと

2. 目標

自己の確立：普段、人に流されやすいので、アメリカに行きしっかりとした考え方や、物の見方を見出す。また、将来、中学校の英語教員を目指しているので、アメリカと日本の教育の違いについて考える。

3. 成果（それぞれの目標に対して）

留学の期間を通して、日記を書くことにした。この日誌を書くことで、アメリカにいて気づいたことや、アメリカと日本の考え方の違いなど、新しいことに気づき考えることができた。また、アメリカ人やヨーロッパ人の友達を作ったことで、それぞれの国特有の考え方や感じ方を知ることができた。アメリカの教育については、中等教育の授業を通してだけでなく、自分自身が大学の講義を受けることで学ぶことができた。日本で多くある講義スタイルの授業だけではなく、ディスカッションなど学生が主体となり自分たちで考えを深めていく授業がアメリカでは多くあると感じた。アメリカの教育は、学生が主体となり、授業を作っていく。

4. 留学を通して学んだこと

留学を通して、主に日本とアメリカの文化、考え方、感じ方の違いをまなぶことができた。ライト州立大学の近くにある Air Force Museum に行ったことで、日本とアメリカの戦争に対する考え方の違いを学ぶことができた。アメリカ人は戦争をどこか遊びのように考え楽しんでいるように感じた。世界での戦争に対する考え方のギャップが新たな戦争を生み出していることもあると思うので、一人ひとりが、戦争や平和に対して考え直す必要があると感じた。

また、春休みにニューヨークに1週間旅行に行き、美術館やミュージカルなど様々な所を訪れた。美術館では性について学ぶことができた。日本人は性に対してとても閉鎖的であり、日本の性教育は十分であるかなど、疑問に思う点がいくつかあった。これから顔の見えないオンライン上の世界が広がっていく世の中で、改めて考え直す必要がある問題だと感じた。ブロードウェイのミュージカルに行って学んだことは、表現の仕方である。彼らは、僕のようにすべて英語が聞き取れない人でも分かるように、ジェスチャーや言葉の抑揚で感情を表現していた。これは日本人にはあまりないやり方だなと感じた。3月にはクリーブランドに行き、NBAを観戦した。アメリカは試合というより、会場そのもののエンターテインメントを楽しんでいると感じた。

5. 今後の課題・目標

今回の留学を通して、今までいなかった海外にいる友達を作ることができた。特にヨーロッパの友達は、日本人の考え方とは違う大きな考え方を持っていた。その友達とこれからも SNS などを通して連絡を取り合っていきたい。日誌を通して、日本と海外の考え方や、文化の違いや、矛盾をたくさん見つけることができたが、それを深く掘り下げることはできなかった。これからは、海外に行ってみつけたことや、できるようになった様々な視点を持つことを通して、その問題について深く考えられるようになりたい。